

“つつじ通り・国道1号プチメンテナンス”実施の経緯

1. プチメンテナンスとは？

道を歩いていると、ちょっとしたゴミが捨てられていたり、雑草が生えていたり、歩道タイルの数枚が破損していたり、何かの設備の色が落ちていたり、色々な「ちょっと」が目につきます。それらのメンテナンスは行政など管理者が行うことが基本ですが、もし市民も関わる仕組みがあれば、もっときれいな道、きれいな地域で暮らしていけるのではないのでしょうか。

こうした市民の呼びかけにより、平成17年度に「みちの静岡コミュニティシンクタンク」(行政・市民・企業のつなぎ役を目指して設立された市民グループ)と静岡国道事務所とが連携し、市民団体・道路管理者の参加による「プチメンテナンス検討ワークショップ会議」を開催し、実験的にプチメンテナンスを実施しました。

「プチメンテナンス」とは、市民が中心となって道路上の施設に簡易な塗装や修理を行い、継続的な実施により、まちをきれいに美しく保つ仕組みの事です。今年度も引き続き「プチメンテナンス」を地域に定着するための取り組みを実施しています。

2. “つつじ通り・国道1号プチメンテナンス”実施の経緯

(つつじ通り及び国道1号におけるプチメンテナンスの始まり)

昨年度、静岡市内のつつじ通り(静岡鉄道線路～国道1号日之出町交差点部)及び国道1号(日之出町交差点付近)で、プチメンテナンスの実験を行いました。(写真参照。)

一般市民が道路上のメンテナンスについて、どの分野ならばどの程度までメンテナンスの実施が可能であるのかを実験したものです。

プチメンテナンスの実験にて分電盤とガードパイプの塗装をする様子



実験前

実験中

実験後

実験結果から、1カ所に2人程度が1～2時間での補充・補修作業を行うだけで街の景観は非常に良くなることがわかりました。また、実験参加メンバーからは、「やりがいがある」「この場所に愛着がわく」等の意見が多数寄せられました。

(つつじ通り及び国道1号における平成18年度の取り組み)

今年度は、プチメンテナンスを地域に定着させ、今後も継続していくため、昨年度プチメンテナンスの実験を行ったつつじ通り及び国道1号をモデル路線とし、人材育成や実施体制の構築に取り組んでいます。

去る10月28日(土)には、新しい取り組みとして、日本DIY協会所属、(株)エンチョーの協力により、プチメンテナンス活動団体の有志がプチメンテナンスの作業ノウハウを学び、「プチインストラクター」となるための講習会を開催しました。

技術講習会では、錆取りや塗装の仕方、ベンチやサインに生えた苔やカビの取り方等を学びました。

11月12日(日)に実施するプチメンテナンスでは、技術講習を受けたプチインストラクターが、参加者にプチメンテナンスにおける技術を教えながら行っていきます。作業中の安全対策には、花菱建設株式会社にご協力を頂きます。



技術講習会でベンチの補修について学ぶ様子